

# 台湾総督府警察官及司獄官練習所覚書（四訂稿）

—日本統治下台湾警察史の一齣—

（令和4（2022）年7月31日（日）現在）

（補正経緯）

HP初載：平成23（2011）年7月26日（火）初稿作成  
平成23（2011）年9月6日（火）改訂稿作成  
（誤植訂正、一部追加）  
平成24（2012）年9月3日（月）再訂稿作成  
（誤植訂正、一部追加）  
平成26（2014）年11月18日（火）三訂稿作成  
（誤植訂正、【附録2】等追加）  
令和 4（2022）年7月31日（日）四訂稿作成  
（レイアウト全面変更、一部補正、追加）

## 〔目 次〕

1 はじめに ……………	1
2 台北所在の旧警官練習所によせて ……………	1
【附録1】台湾総督府警察官及司獄官練習所参考HP ……………	4
【附録2】鷺巣敦哉（1896～1942）関連HP ……………	4

### 1 はじめに

本稿は、先に他用でもって「台北所在の旧警官練習所によせて」と題して作成した旧稿（平成23（2011）年7月25日稿）<sup>1</sup>を、一、二修正するとともに、註記を加えつつあるものである。今後更に補正に努めたく考えている。

### 2 台北所在の旧警官練習所によせて

日本統治下台湾警察史<sup>2</sup>、ひいては、同台湾史を眺めるに際しては、もとより警察官養成機関であった台湾総督府警察官及司獄官練習所<sup>3</sup>（台北市八甲町一丁目、当時は「警官練習

<sup>1</sup> 「台北所在の旧警官練習所によせて」『台湾協会報』第 683 号（平成 23 年 8 月 15 日刊）第 4 面（平成 26 年 11 月 18 日追加）

<sup>2</sup> 本 HP 別稿「鷺巣敦哉氏と『台湾総督府警察沿革誌』の編纂について—日本統治下台湾警察史の一齣—」参照。(<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu001.pdf>>)

<sup>3</sup> 本 HP 別稿「台湾総督府警察官及司獄官練習所歌覚書—「椰子の実みのる」及び「彩雲めぐる」をめぐって— 日本統治下台湾警察史の一齣—」参照。（平成 24 年 9 月 3 日追加）

(<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/renshushouta.pdf>>)

<>

所」、「練習所」と略称されていたようである。)についても、検討する必要がある。

機会あって昭和四十年代半ばにその跡地(当時台北市広州街20号)を訪うたことがある。今春(平成23(2011)年)さる識者より台湾のHP「林小昇之米克斯拼盤」中「警察官及司獄官練習所(2011年2月17日掲載)」<sup>4</sup>の紹介を受けたが、同所載の諸写真のうち、有名な昭和20(1945)年5月31日台北大空襲<sup>5</sup>後の同年6月17日米軍撮影の練習所航空写真は、初めて見るもので驚いた。加えて、先頃知人から恵投に与った同所旧址の現状(万華区南寧路46号、台北市立龍山国民中学<sup>6</sup>)の写真<sup>7</sup>を拝見するに、往時茫々まさに夢の如しであり、改めて同所のことを想起したところである。

警官練習所に関しては、既に多くの方々が言及しているが、個人的にも、前に、同所創業期のことにつき初代所長であった湯目補隆(1858~1936)の事蹟<sup>8</sup>(『台湾協会報』第669号)とか、所歌「椰子の実みのる」及び「彩雲めぐる」の作成経緯<sup>9</sup>(『台湾協会報』第594号)について、二、三調べたことがある<sup>10</sup>。

こうした中、台湾では、昨秋(2010年)劉惠璇氏<sup>11</sup>「日治時期之「台湾総督府警察官及司獄官練習所」(1898~1937)一台湾警察専科学校校史探源(上篇)一」『警専学報』第4巻第8期(台湾警察専科学校<sup>12</sup>、民国99(2010)年10月刊)63~94頁<sup>13</sup>が公表された(ネット版もあり。)が、本年3月改めて「抽印本」の形で出された。現在、主要な警察教育機関としては、中央警察大学(旧中央警官学校)<sup>14</sup>及び台湾警察専科学校(旧台湾省警察学校)の二校が存在するが、後者は、その前身を日本統治下の警官練習所とするようで、

---

<https://zh.wikipedia.org/wiki/%E8%87%BA%E7%81%A3%E7%B8%BD%E7%9D%A3%E5%BA%9C%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E5%AE%98%E5%8F%8A%E5%8F%B8%E7%8D%84%E5%AE%98%E7%B7%B4%E7%BF%92%E6%89%80> (令和4(2022)年7月31日追加)

<sup>4</sup> 台湾 HP「林小昇之米克斯拼盤」中「警察官及司獄官練習所(2011年2月17日掲載)」

[http://linchunsheng.blogspot.com/2011/02/blog-post\\_17.html](http://linchunsheng.blogspot.com/2011/02/blog-post_17.html)

<sup>5</sup> <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8F%B0%E5%8C%97%E5%A4%A7%E7%A9%BA%E8%A5%B2>

<sup>6</sup> 龍山国民中学: <http://www.lsjh.tp.edu.tw/> (民国65(1976)年8月1日成立)

<sup>7</sup> <https://4travel.jp/travelogue/10592618>

<sup>8</sup> <https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yunome001.pdf>、  
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakurayunome.pdf>、  
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugaku.pdf>

<sup>9</sup> <https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/reushushouta.pdf>

<sup>10</sup> 『台湾総督府警察沿革誌』の編纂者として有名な鷲巢敦哉(1896~1942)は、練習所教官で退官しているが、同氏の練習所時代のことについても今後検討する必要がある。(平成23年9月6日追加)

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu002.pdf>

<sup>11</sup> <http://department.tpa.edu.tw/crime/t-%E5%8A%89%E6%83%A0%E7%92%87.htm> (平成24年9月3日追加⇒令和4(2022)年7月31日現在では削除か。)

<sup>12</sup> 台湾警察専科学校: <http://www.tpa.edu.tw/>

<sup>13</sup> <http://lawdata.com.tw/tw/detail.aspx?no=172659> 参照。(令和4(2022)年7月31日追加)

(下記URLは令和4(2022)年7月31日現在では削除か。)

[http://www.tpa.edu.tw/mana\\_php/Download/File/magazine/TPC-bulletin/Date-pdf/4-8\\_05-%E5%8A%89%E6%83%A0%E7%92%87.pdf](http://www.tpa.edu.tw/mana_php/Download/File/magazine/TPC-bulletin/Date-pdf/4-8_05-%E5%8A%89%E6%83%A0%E7%92%87.pdf)

[http://www.tpa.edu.tw/mana\\_php/Download/File/magazine/TPC-bulletin/Date-pdf/4-8\\_05-%E5%8A%89%E6%83%A0%E7%92%87-%E6%96%87%E5%8B%98%E8%AA%A4%E8%A1%A8.doc](http://www.tpa.edu.tw/mana_php/Download/File/magazine/TPC-bulletin/Date-pdf/4-8_05-%E5%8A%89%E6%83%A0%E7%92%87-%E6%96%87%E5%8B%98%E8%AA%A4%E8%A1%A8.doc)

<sup>14</sup> 中央警察大学: <http://www.cpu.edu.tw/bin/home.php> ⇒ <https://www.cpu.edu.tw/>

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%AD%E5%A4%AE%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E5%A4%A7%E5%AD%A6>

この絡みで、劉惠璇氏は同稿を作成された由である。その後、下篇も出された（同誌第5巻第1期（民国100年4月刊）1～34頁<sup>15</sup>。ネット版、抽印本もあり。）が、いずれも極めて精緻な警官練習所史研究で、ただただ敬服にたえない次第である<sup>1617</sup>。

これからもわかるように、現時台湾では若手研究者により日本統治下台湾警察史に関する多くの本格的著作が出されるようになっており、その多くはネットでも参照できるというものの、全般的なフォローは異邦人にとってかなり難しいことであって、当該分野検討にも、新たな時期が来たように感じられる。

なお、当該期警察史検討には、当時刊行の諸雑誌に当たる必要があり、これにつき、中島利郎教授（1947～）<sup>18</sup>は夙に『台湾時報』、『台湾警察協会雑誌』、『台湾警察時報』、『台法月報』及び『台湾教育』等といった主要雑誌の目録を作成、刊行されておられたが、近年中島利郎編『『台湾地方行政』総目・人名索引〔試行本〕』（緑蔭書房、平成21年9月30日刊）<sup>19</sup>をも上梓された。更なる進展が期待されるところである。

\*\*\*\*\*

<sup>15</sup> （下記 URL は令和 4（2022）年 7 月 31 日現在では削除か。）

[http://www.tpa.edu.tw/mana\\_php/Download/File/magazine/TPC-bulletin/Date-pdf/5-1\\_01-%E6%97%A5%E6%B2%BB%E6%99%82%E6%9C%9F%E4%B9%8B%E3%80%8C%E8%87%BA%E7%81%A3%E7%B8%BD%E7%9D%A3%E5%BA%9C%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E5%AE%98%E5%8F%8A%E5%8F%B8%E7%8D%84%E5%AE%98%E7%B7%B4%E7%BF%92%E6%89%80%E3%80%8D.pdf](http://www.tpa.edu.tw/mana_php/Download/File/magazine/TPC-bulletin/Date-pdf/5-1_01-%E6%97%A5%E6%B2%BB%E6%99%82%E6%9C%9F%E4%B9%8B%E3%80%8C%E8%87%BA%E7%81%A3%E7%B8%BD%E7%9D%A3%E5%BA%9C%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E5%AE%98%E5%8F%8A%E5%8F%B8%E7%8D%84%E5%AE%98%E7%B7%B4%E7%BF%92%E6%89%80%E3%80%8D.pdf)

<sup>16</sup> 劉惠璇氏御玉稿中（同誌第5巻第1期25頁）に『練習生必携（昭和19年1月）』（台湾総督府警察官及司獄官練習所、昭和19年1月刊?）が引用されているが、日本統治期最後あたりの練習所の規則、関係法規、地図等を網羅している。当時の練習所についてはなかなか資料が見当たらないこともあり、同書は寔に貴重であるといえる。今回御示教を賜った梁添盛博士及び劉惠璇氏の御厚情に深甚の謝意を表するものである。（平成23年9月6日追加）

なお、臺灣總督府警察官及司獄官練習所正門写真について下記参照。（令和4（2022）年7月31日追加）

<https://collections.nmth.gov.tw/CollectionContent.aspx?a=132&rno=2001.008.0242>

<sup>17</sup> その後、2011（民国100、平成23）年10月、台湾警察専科学校は、劉惠璇氏編輯により、上記論稿に新たな資料等を加えて、『台湾警察専科学校創校一一三週年紀念特刊 飛躍世紀傳承興隆 日治時期台湾總督府警察官及司獄官練習所』（台湾警察専科学校、2011（民国100）年10月刊）を刊行された。同書につき、例えば、アジア経済研究所OPAC <http://webopac.ide.go.jp/webopac/ctlsrh.do>、

<http://ci.nii.ac.jp/ncid/BB09121672>、台湾・東海大学OPAC

<http://140.128.103.8/Webpac2/store.dll/?ID=644155&snc=C4BF84E868F250D648163423240A49E D&T=0>等参照。ちなみに、劉惠璇氏は、2012（民国101、平成24）年4月23日に、台湾警察専科学校で、同書に関連して、「史學は沙漠玫瑰の開放——談警專百年校史研究 主講人:劉惠璇副教授 101年4月23日」なる講演をされておられる（現在「グーグル」で検索できるが、サイト名は不明）。（平成24年9月3日追加）

<sup>18</sup>

<http://www.bk1.jp/books/authorSearchResult/?authorKana=%E3%83%8A%E3%82%AB%E3%82%B8%E3%83%9E+%E3%83%88%E3%82%B7%E3%82%AA&adultFlg=0&authorId=11000155858000&author=%E4%B8%AD%E5%B3%B6+%E5%88%A9%E9%83%8E>

<sup>19</sup> <https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakajima001.pdf>

【附録1】台湾総督府警察官及司獄官練習所参考HP（令和4年7月31日一部補正）

- ・松尾弘「思い出の植民政策」（明治大学学術成果リポジトリ、20-Mar-1987）  
〈<https://m-repo.lib.meiji.ac.jp/dspace/handle/10291/10388>〉  
〈[https://m-repo.lib.meiji.ac.jp/dspace/bitstream/10291/10388/1/sentanyusu\\_39-40\\_2.pdf](https://m-repo.lib.meiji.ac.jp/dspace/bitstream/10291/10388/1/sentanyusu_39-40_2.pdf)〉
- ・「八十の手習い日記」〈<http://altism0127.exblog.jp/>〉「桜から思い出すこと」（2007（平成19）年3月31日。執筆者は往時の井上（奏任）教官御関係者か。）

【附録2】鷺巣敦哉（1896～1942）関連HP（平成26年11月18日追加、令和4（2022）年7月31日補正）

- ・「鷺巣敦哉氏と『台湾総督府警察沿革誌』の編纂について—日本統治下台湾警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu001.pdf>〉
- ・「鷺巣敦哉氏著作目録抄—日本統治下台湾警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu002.pdf>〉
- ・『鷺巣敦哉著作集 補遺』（緑蔭書房、平成26年7月31日刊）概要—日本統治下台湾警察史の一齣—  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu003.pdf>〉
- ・『鷺巣敦哉著作集』V（「雑誌所収著作」：緑蔭書房、平成12年12月10日刊）、同別巻（「警察試験叢書・雑誌所収著作補遺・索引」：同、平成14年1月31日刊）及び『鷺巣敦哉著作集 補遺 警察試験叢書（続）・雑誌所収著作補遺（続）・索引』（同、平成26年7月31日刊）所収論稿一覧—日本統治下台湾警察史の一齣—（本稿）  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisukiko.pdf>〉
- ・「鷺巣敦哉氏著『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』（台湾警察協会、昭和18年9月20日刊）・雑誌『台湾地方行政』比較対照表（三訂稿）—『鷺巣敦哉著作集』IV（『台湾統治回顧談〈台湾の領有と民心の変化〉』：緑蔭書房、平成12年12月10日刊）参考資料— 日本統治下台湾警察史の一齣—  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisukaiko.pdf>〉
- ・「東方孝義・鷺巣敦哉両氏共編『警察語学試験問題及解答集』（警察試験叢書第四編、自己出版、昭和10年11月30日刊）の再発見—日本統治下台湾警察語学教養の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/higashikata001.pdf>〉
- ・「鷺巣敦哉氏『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』及び台湾総督府警察官及司獄官練習所『練習生必携』（昭和19年1月刊）—警—最近台湾再発見の日本統治下台湾警察史関係希観書二題— 日本統治下台湾警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisutebiki.pdf>〉
- ・「村上収氏の御逝去を悼みて—『台湾総督府警察沿革誌 第二編 領台以後の治安状況 中巻—台湾社会運動史—』編纂過程の究明によせて— 日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/murakami001.pdf>〉

- ・「木村貞次郎氏台湾語関係著作目録抄—日本統治下台湾警察語学教養の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kimura001.pdf>〉

(了)